

屋根設計のための
標準施工マニュアル

石州ロック式縦棧工法瓦・防災和瓦

石州和瓦
TSルーフ53B



製作年月日

2025年1月23日

改訂第2.0版

建築工事標準仕様に基づく施工方法の紹介

この施工マニュアルは（社）日本建築学会が、建築の質的向と合理化を図る目的で定めた“建築工事標準仕様書（JASS）12屋根工事”に従って解説したものです。

建築工法の多様化や意匠の個性化に伴い、屋根材に求められ性能・機能・意匠・施工等もまた多様化してまいりました。

こうした市場環境下にあつて石州瓦をより多くの消費者に理解していただき、より安全でより快適な住まいづくりのお役に立てばと考え、この施工マニュアルを作成いたしました。

屋根施工業、工務店、設計事務所の方々の参考になれば幸いです。

改訂履歴

2025年01月23日 改訂第2.0版

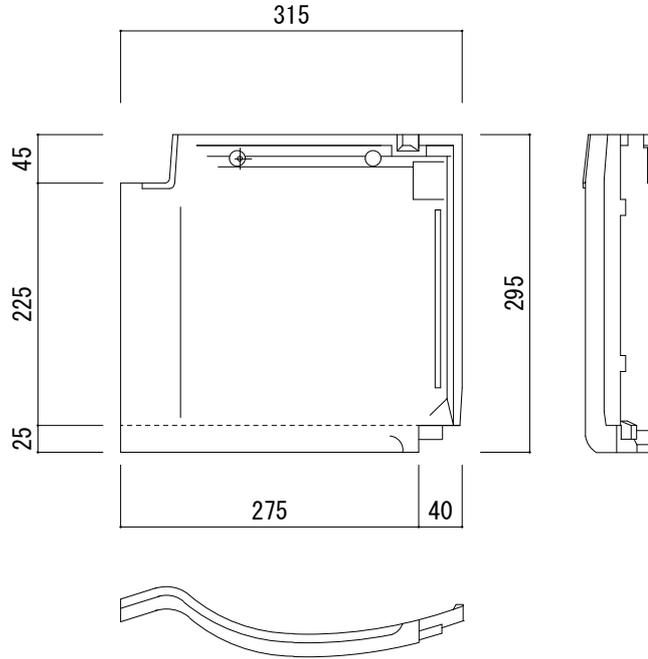
C O N T E N T S

1. 製品概要	1
2. 瓦の形状	2
3. 躯体・割付寸法	5
4. 使用箇所	6
5. 施工用材	10
6. 屋根下地材	10
7. 瓦の留め付け	11
8. 施工詳細図	12

1. 製品概要

石州和瓦

TSルーフ53B



■製品概要

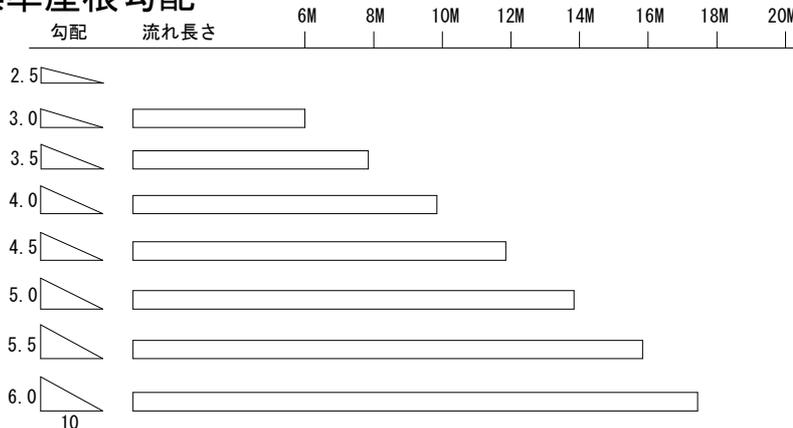
寸法	長さ	295mm(±4mm)
	幅	315mm(±4mm)
	働き長さ	225mm(±4mm)
	働き幅	275mm(±4mm)
葺き枚数	16枚/㎡ 53枚/坪	
重量	2.8kg/枚 45kg/㎡ 150kg/坪	
使用可能勾配	3寸以上	

■物性概要

項目	試験結果	試験方法
曲げ破壊強度	平均2,800N以上	JIS A 5208 に準ずる
吸水率	平均5%以下	
凍害試験	25回の繰り返しで異常なし	
耐薬品性能	異常なし	

※上記製品性能値は試験結果であり、保証値ではありません。
※平成22年度鳥根県産業技術センター試験データに基づく年間平均値です。

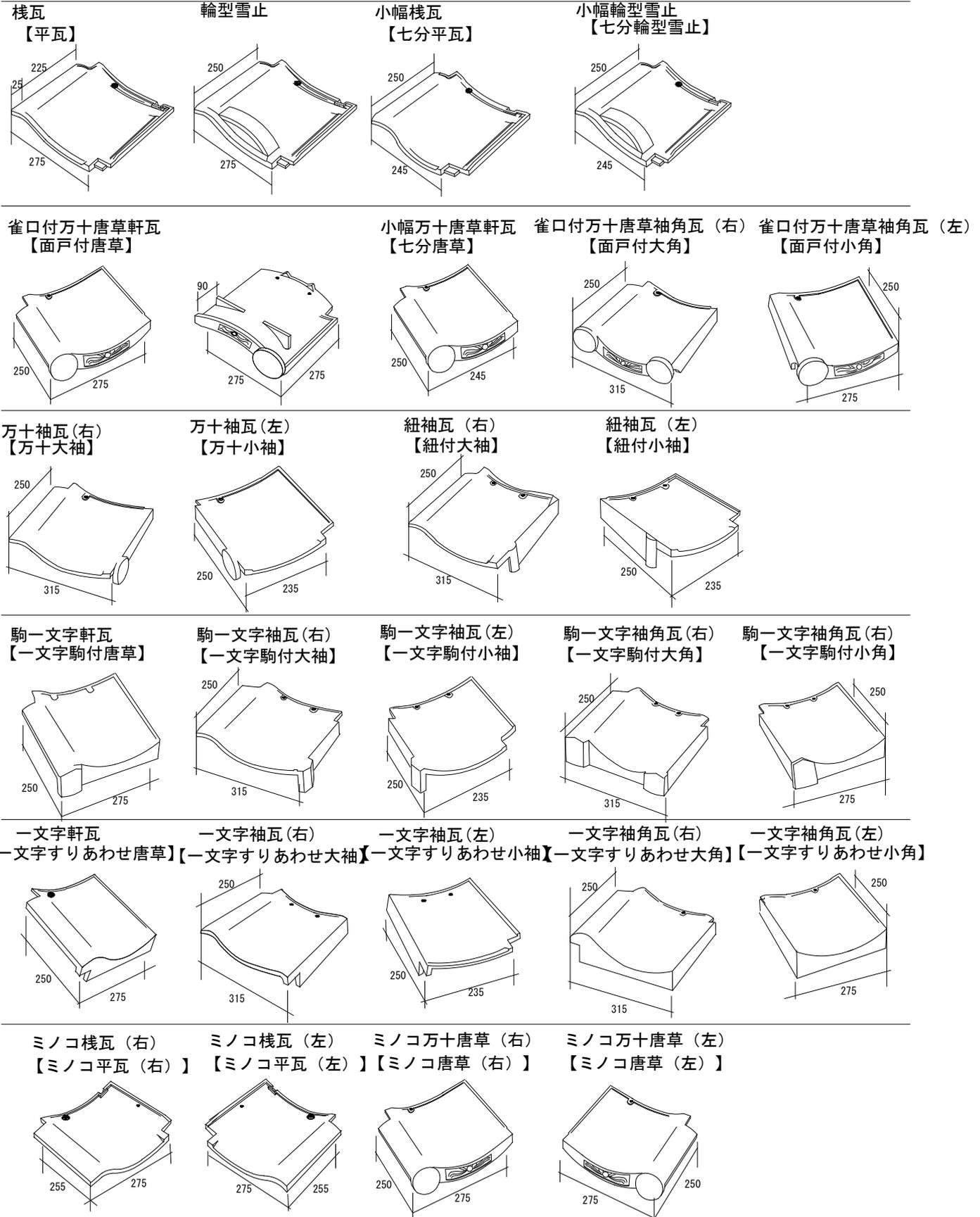
■標準屋根勾配



※この性能値は保証値ではありません。
実際の施工時には、地域や建築物の種類等を考慮し下地に注意して下さい。

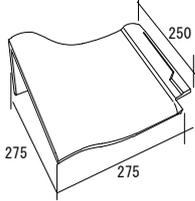
2. 瓦の形状

棧瓦類

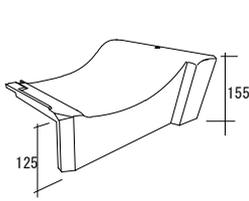


棧瓦類

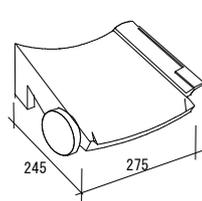
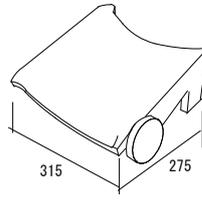
棧瓦片流れ
【タレ付平瓦】



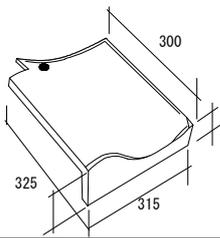
棧瓦片流れ止 (右)
【タレ付大袖】



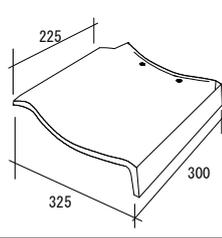
棧瓦片流れ止 (左)
【タレ付小袖】



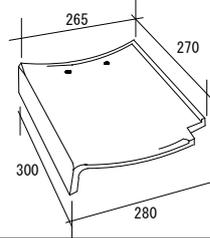
利休一文字軒瓦



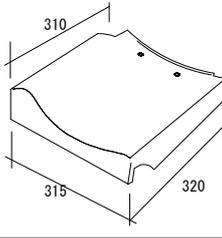
利休一文字袖瓦 (右)



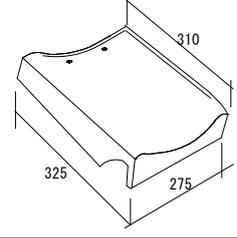
利休一文字袖瓦 (左)



利休一文字角瓦 (右)

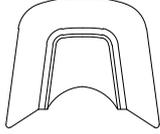
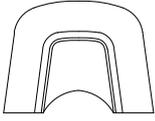
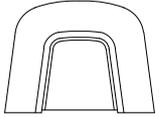
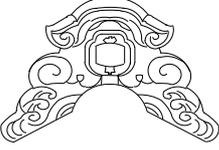
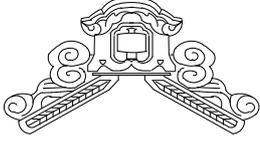
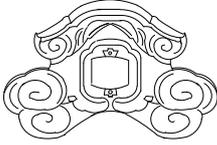
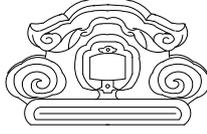
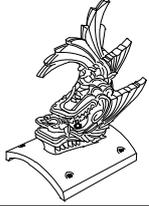
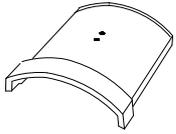
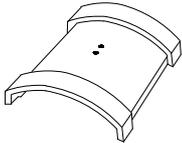
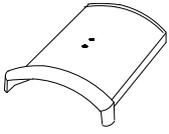
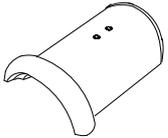
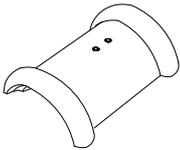
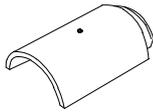
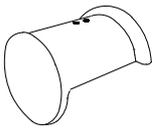
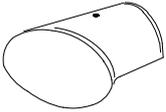
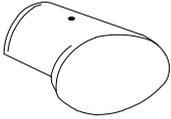
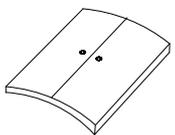
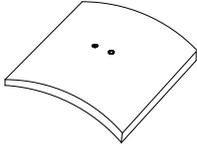
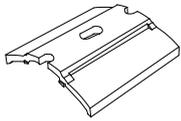
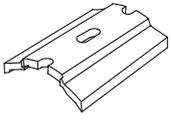


利休一文字角瓦 (左)



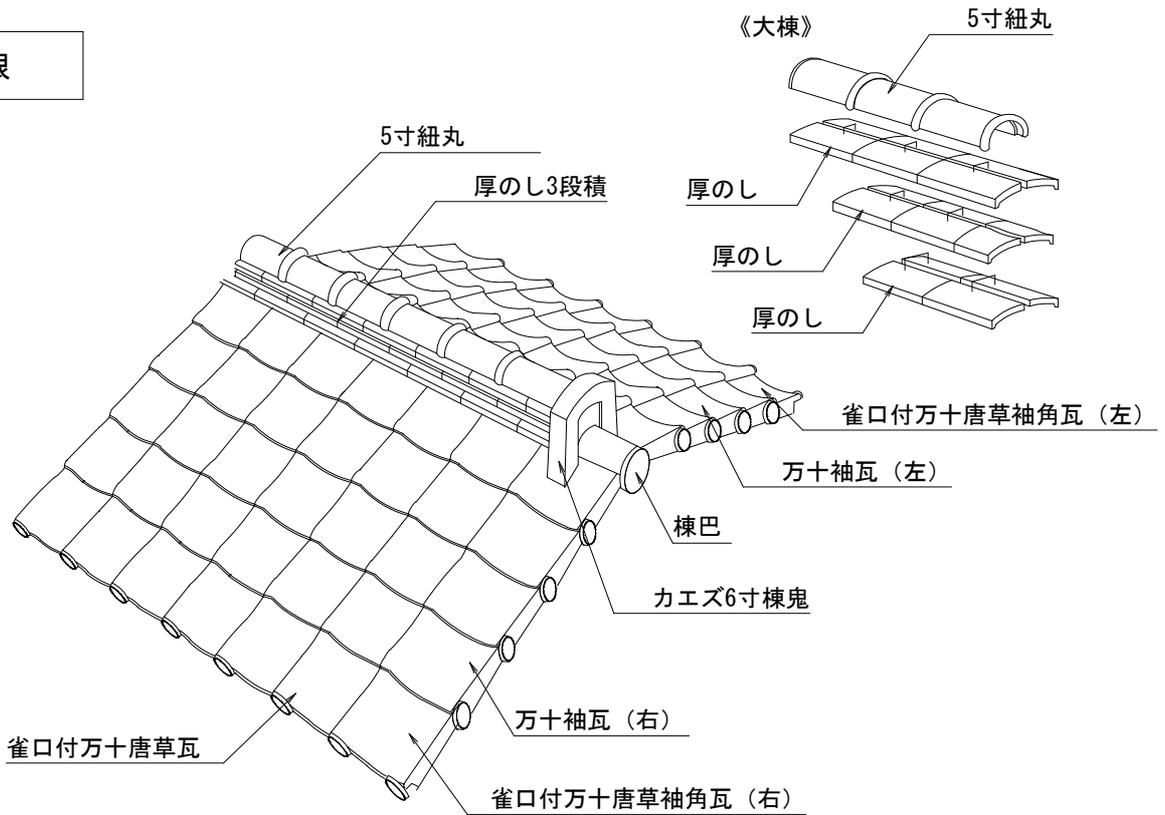
※利休瓦は別紙施工マニュアルを参照してください

役物瓦類

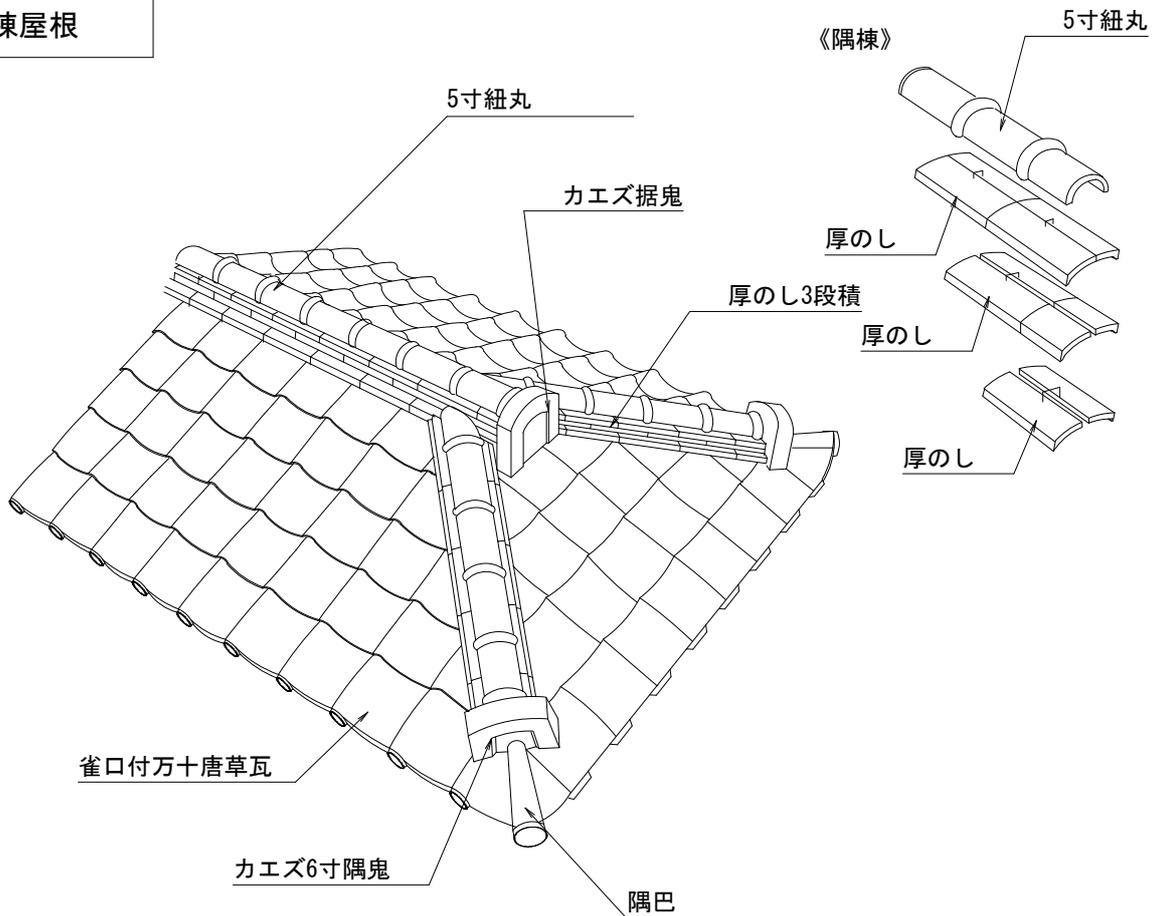
棟巴【切巴】 	隅巴【沓巴】 	カエズ棟鬼 【カエズ又須山】 5寸・6寸・7寸・8寸 	カエズ隅鬼 【カエズ須山】 5寸・6寸・7寸・8寸 	カエズ据鬼 【カエズ切据】 5寸・6寸・7寸・8寸 
棟鬼コズチ 【又須山】 4寸・5寸・6寸・7寸・8寸 	経の巻棟鬼 【紋板】 8寸・9寸・尺・尺1・尺2寸・6寸・7寸・8寸 尺3以上手造り 	隅鬼コズチ 【須山】 	据鬼コズチ 【切据】 6寸・7寸・8寸 	本シャチ角棧雁振瓦台 尺・尺2・尺5 
角棧雁振瓦 【紐付き雁振】 	角棧雁振瓦両棧 【雁振目板】 	丸棧垂付雁振瓦 【丸棧小雁振】 		
紐丸 5寸・6寸・7寸 	紐丸両棧【紐丸目板】 5寸・6寸 	カッポン 7寸 	素丸 5寸・6寸 	三つ又 7寸 
7寸丸棟止瓦（紐付） 	7寸丸棟止瓦（紐無） 	菱巴7寸（右） 	菱巴7寸（左） 	
片面のし 【大のし】 	厚のし 【小のし】 	大幅のし 【七分のし】 	防災大のし 	防災小のし 

4. 使用箇所

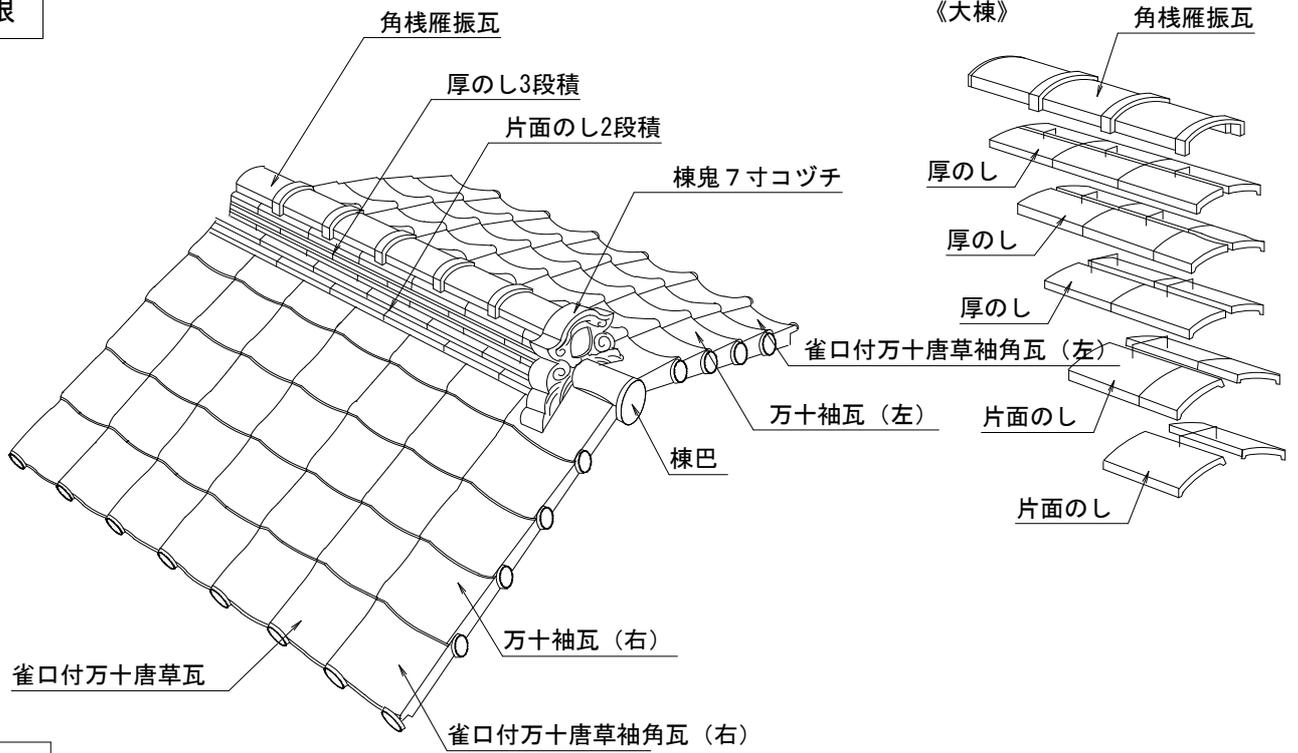
切妻屋根



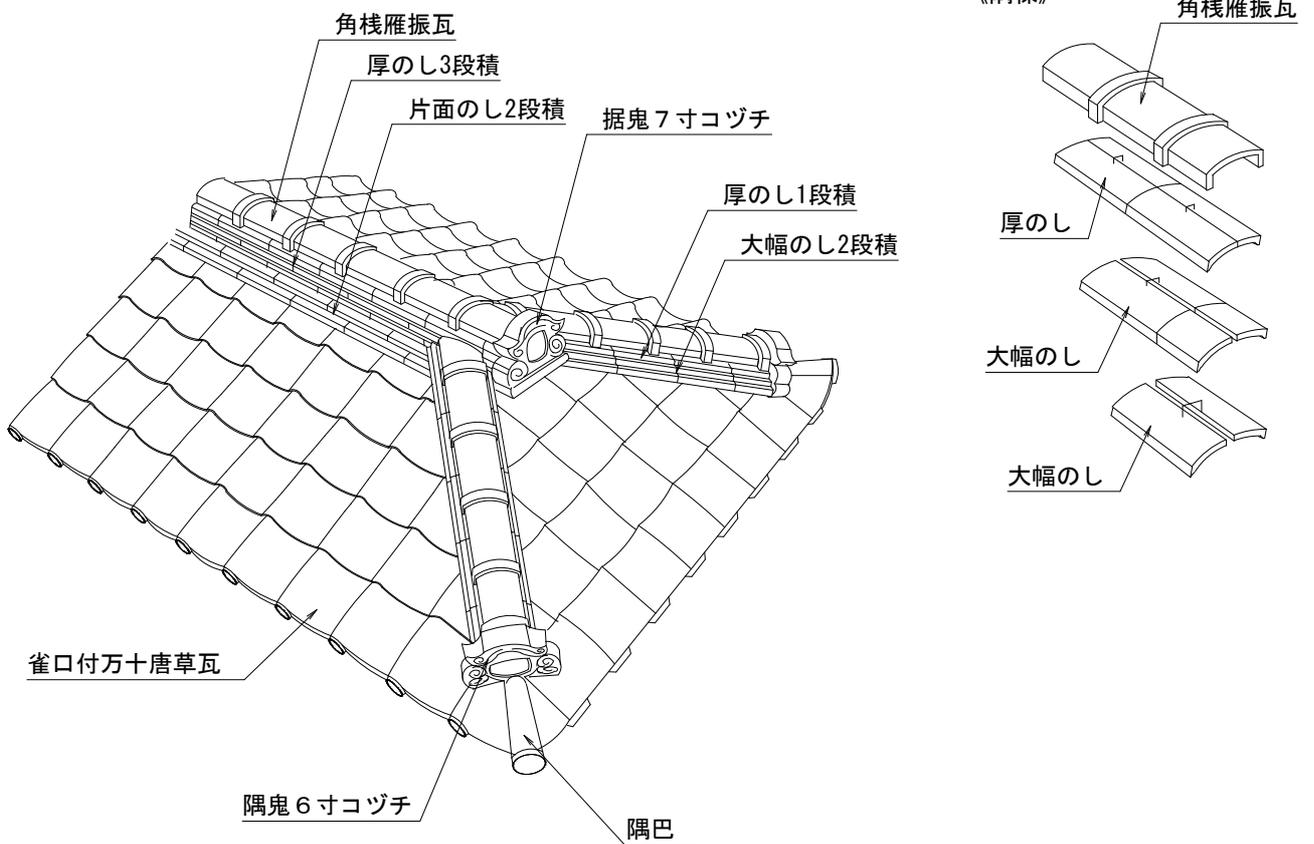
寄棟屋根



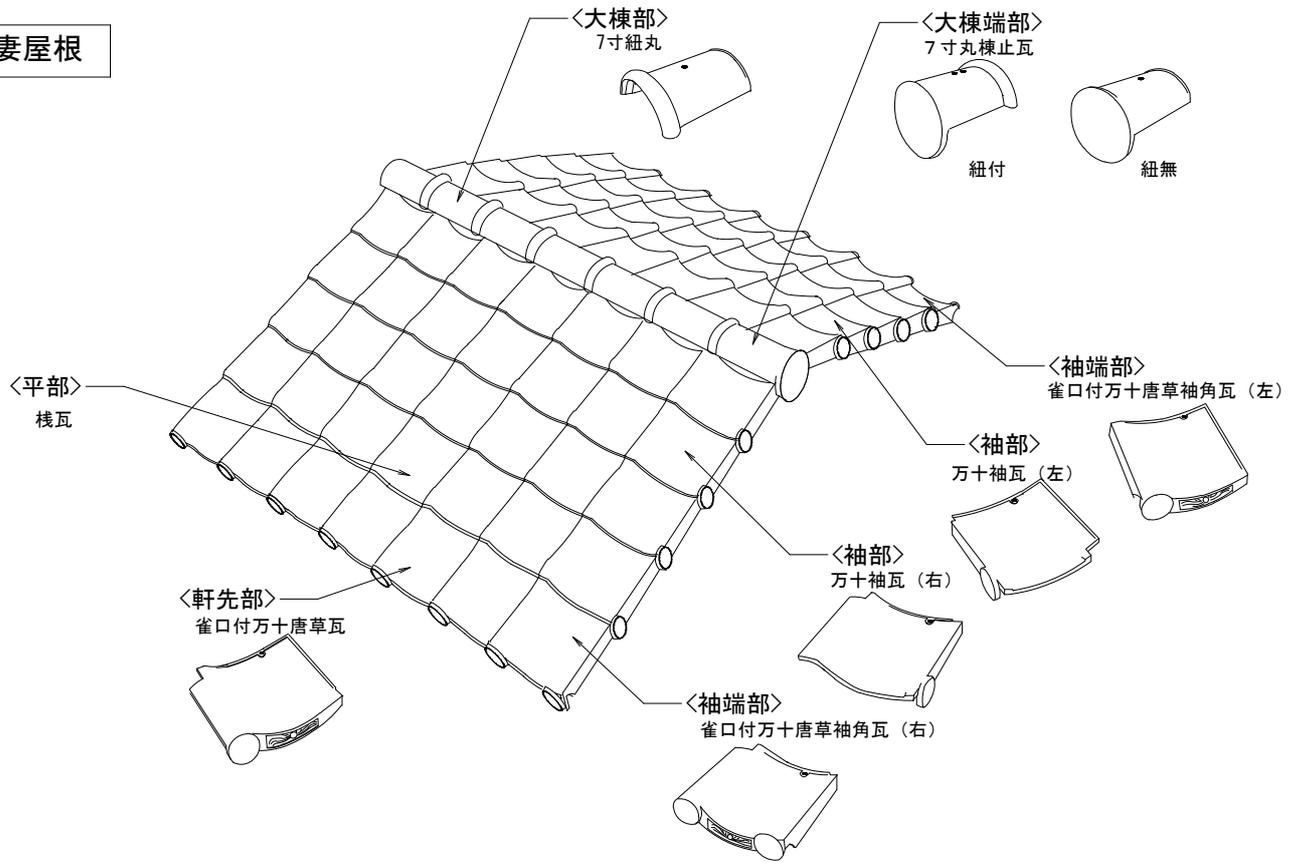
切妻屋根



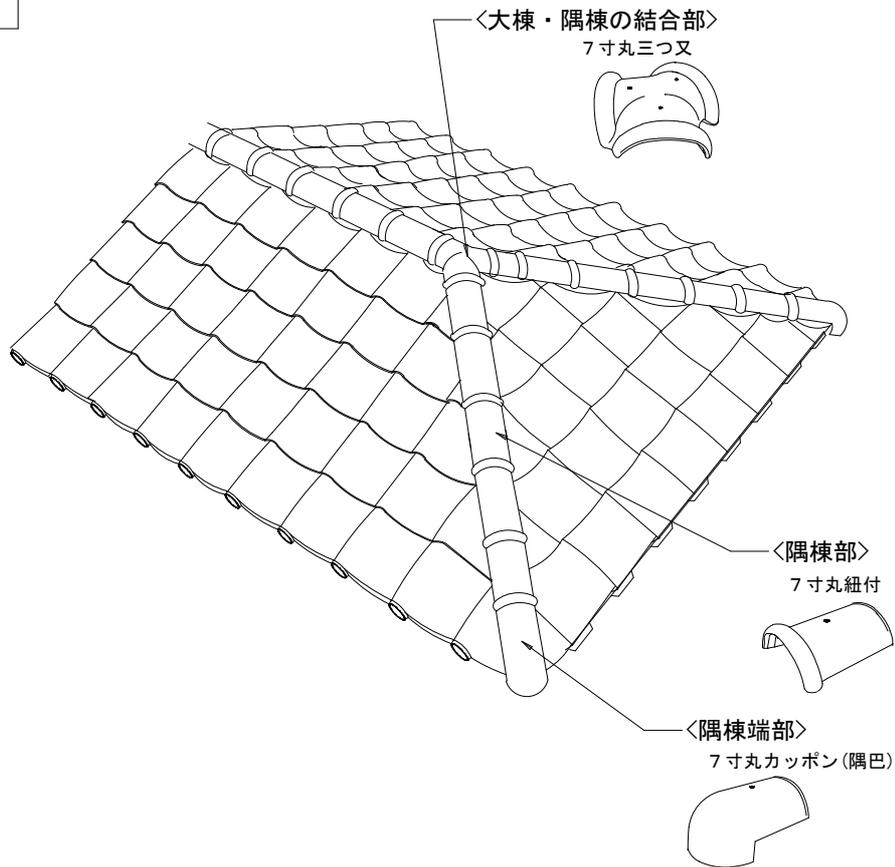
寄棟屋根



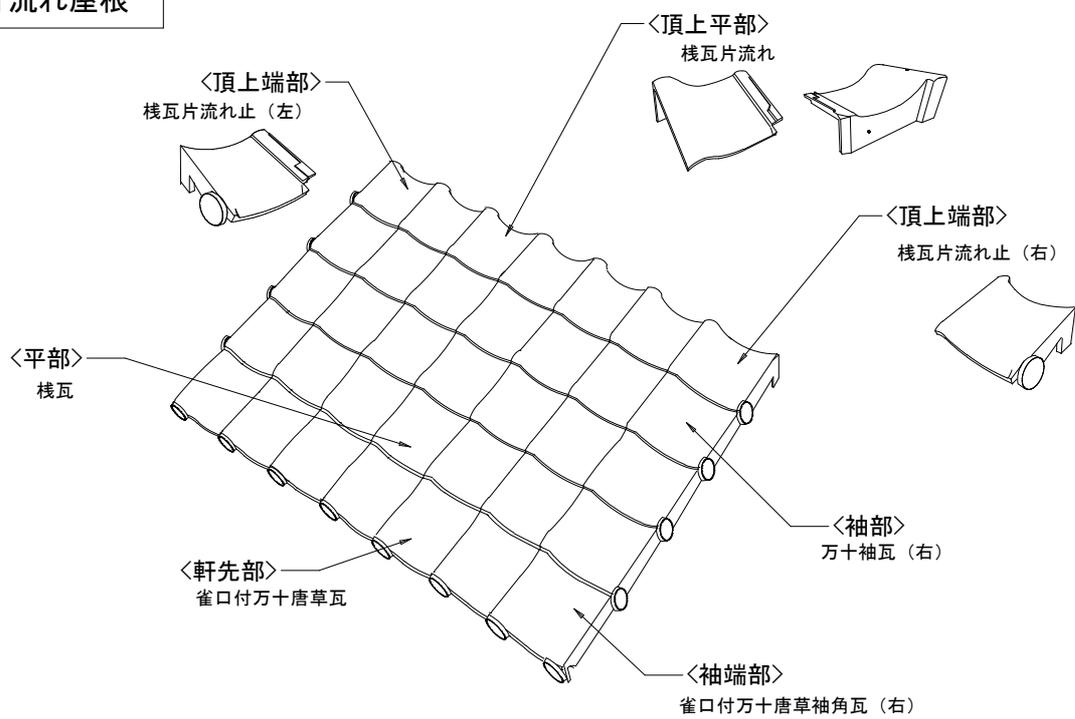
切妻屋根



寄棟屋根



片流れ屋根



5. 施工用材

■釘

- 棧瓦用/ステンレスクリュー釘65mm
- 棟瓦用/パッキン付ステンレスネジ75mm (棟金具棟一番)
- 瓦棧木用/ステンレス連結釘45mm

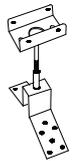
パッキン付
ステンレスネジ



ステンレス
クリュー釘



棟金具
(強力棟Aシリーズ)



■下葺材

- 改質アスファルト ARK04s適合品

■瓦棧木

- 材質/針葉樹Ⅱ類以上の良質なものを
- 寸法/15×30mm

■葺土・モルタル

- 葺土/モルロック
- モルタル

■流し棧 (タテ棧テープ)

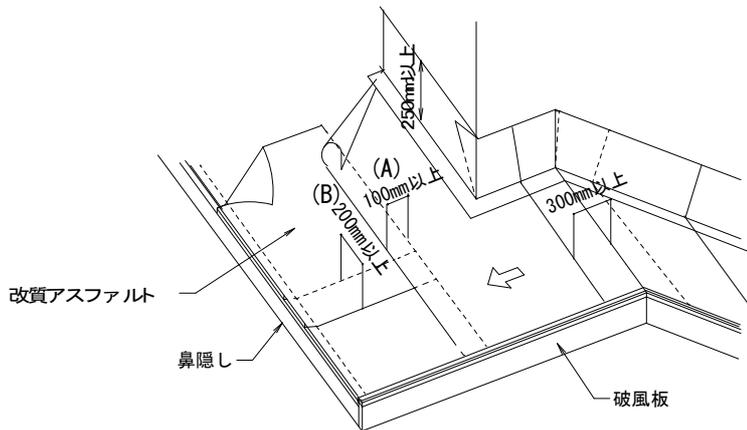
- 瓦横棧木の下にご使用ください。
- 寸法3×20×50M

■軒先・捨水切

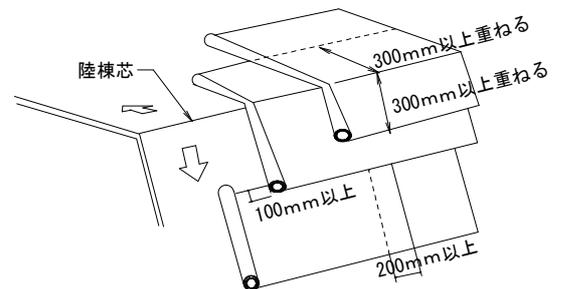
- 捨水切を必ずご使用ください。

6. 屋根下葺材

- 下地材は、軒先より横方向に順次上り方向に敷いていきます。流れ方向の重なり(A)は100mm以上とし、つなぎ目(B)は200mm以上にします。
- 壁との取合部は250mm以上立ち上げる。
- 谷、陸棟、隅棟部分は二重張りとする。
- 留付けは300mm間隔にたるみのないように留付ける。

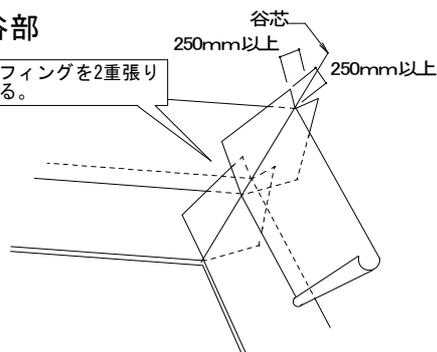


●陸棟部



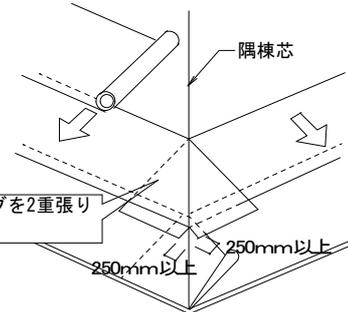
●谷部

ルーフィングを2重張りにする。



●隅棟部

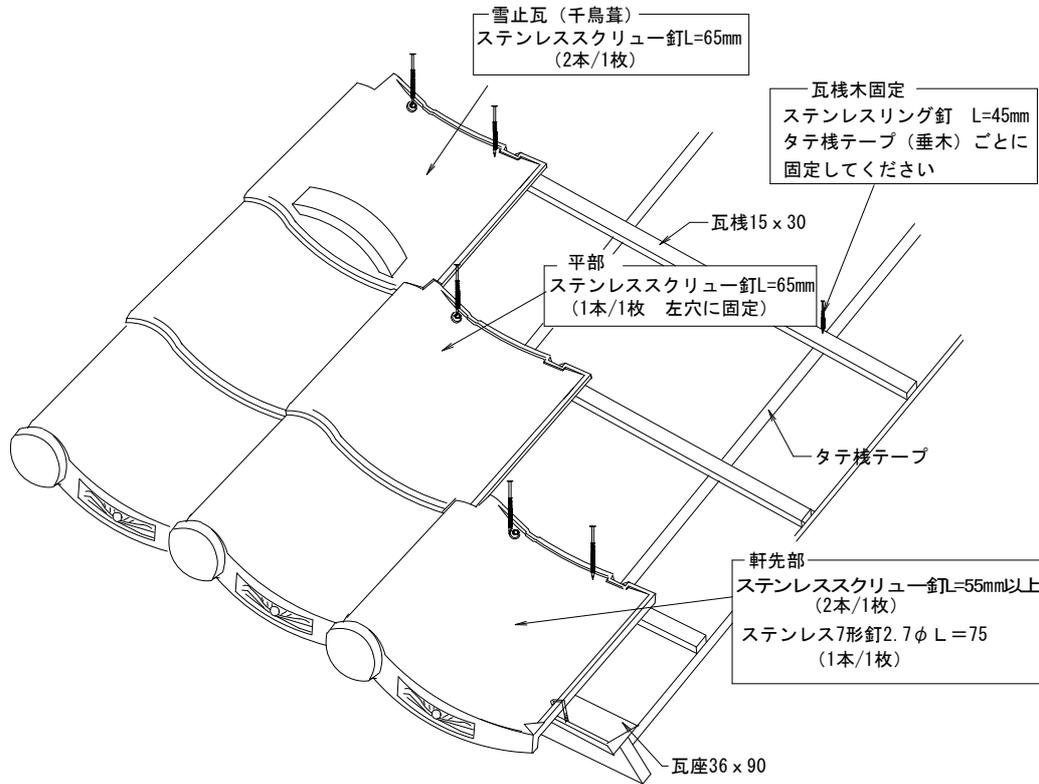
ルーフィングを2重張りにする。



7. 瓦の留め付け

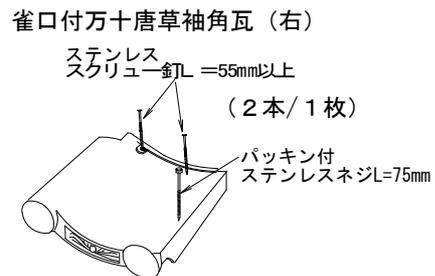
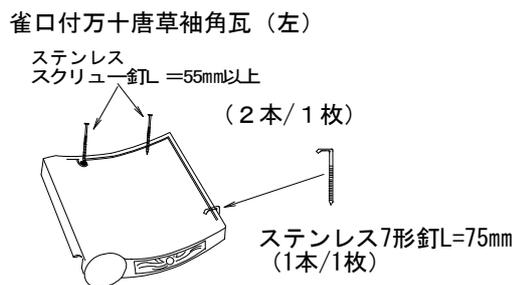
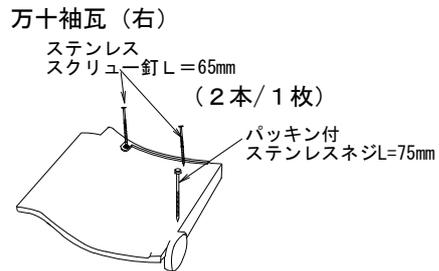
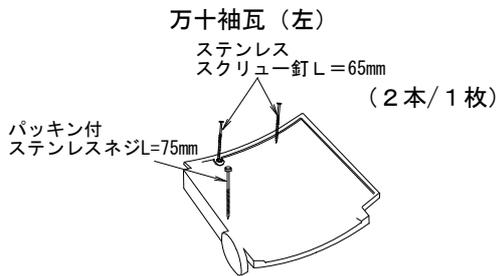
棧瓦及び瓦棧木

※当製品は施工ガイドラインの中で組み合わせ葺き工法に該当します
 平部棧瓦：全数留め付け1本/1枚
 軒瓦：全数留め付け2本/1枚 ステンレス7形釘補強
 雪止瓦：全数留め付け2本/1枚



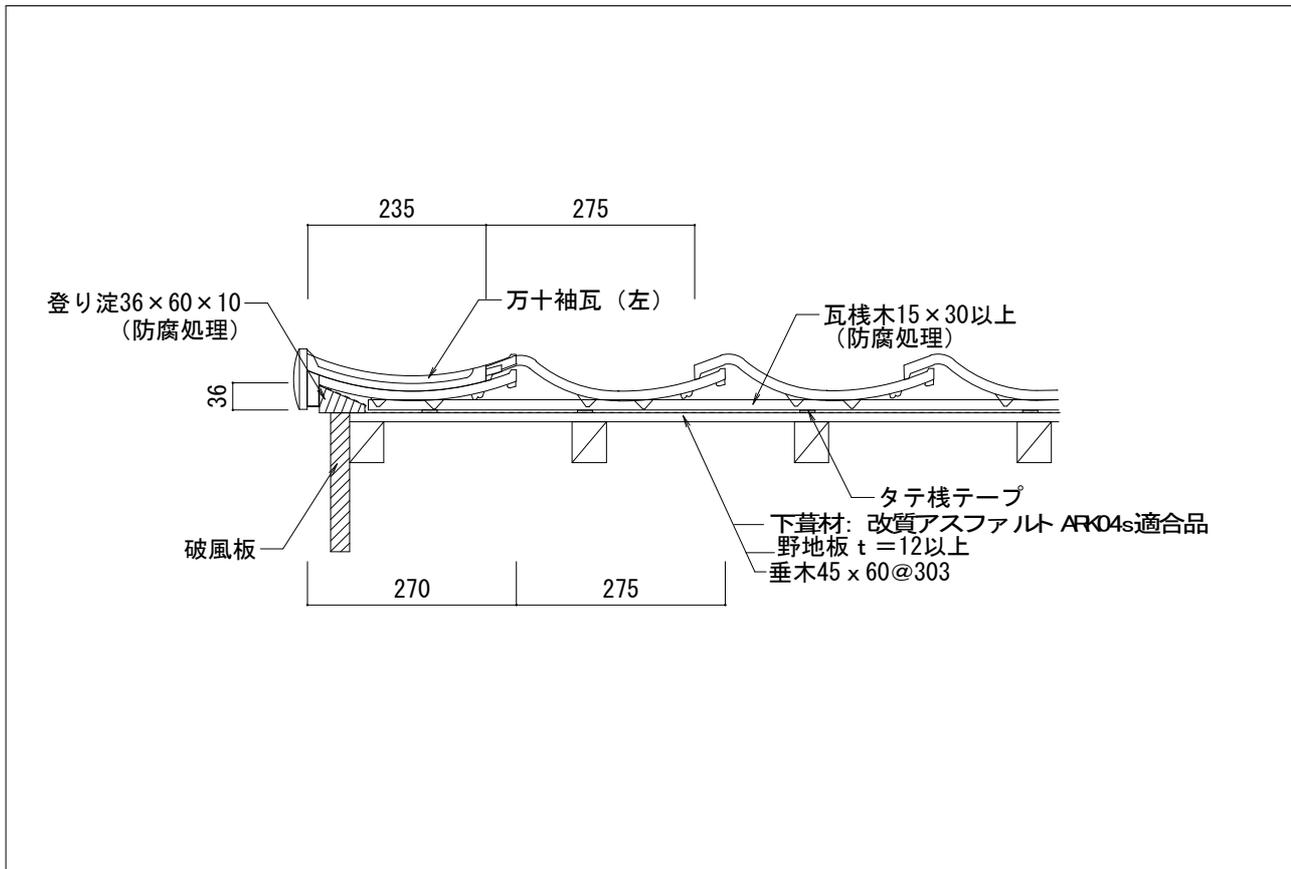
袖瓦

袖瓦：全数留め付け2本/1枚 パッキン付ビス補強
 角瓦：全数留め付け2本/1枚 パッキン付ビス補強

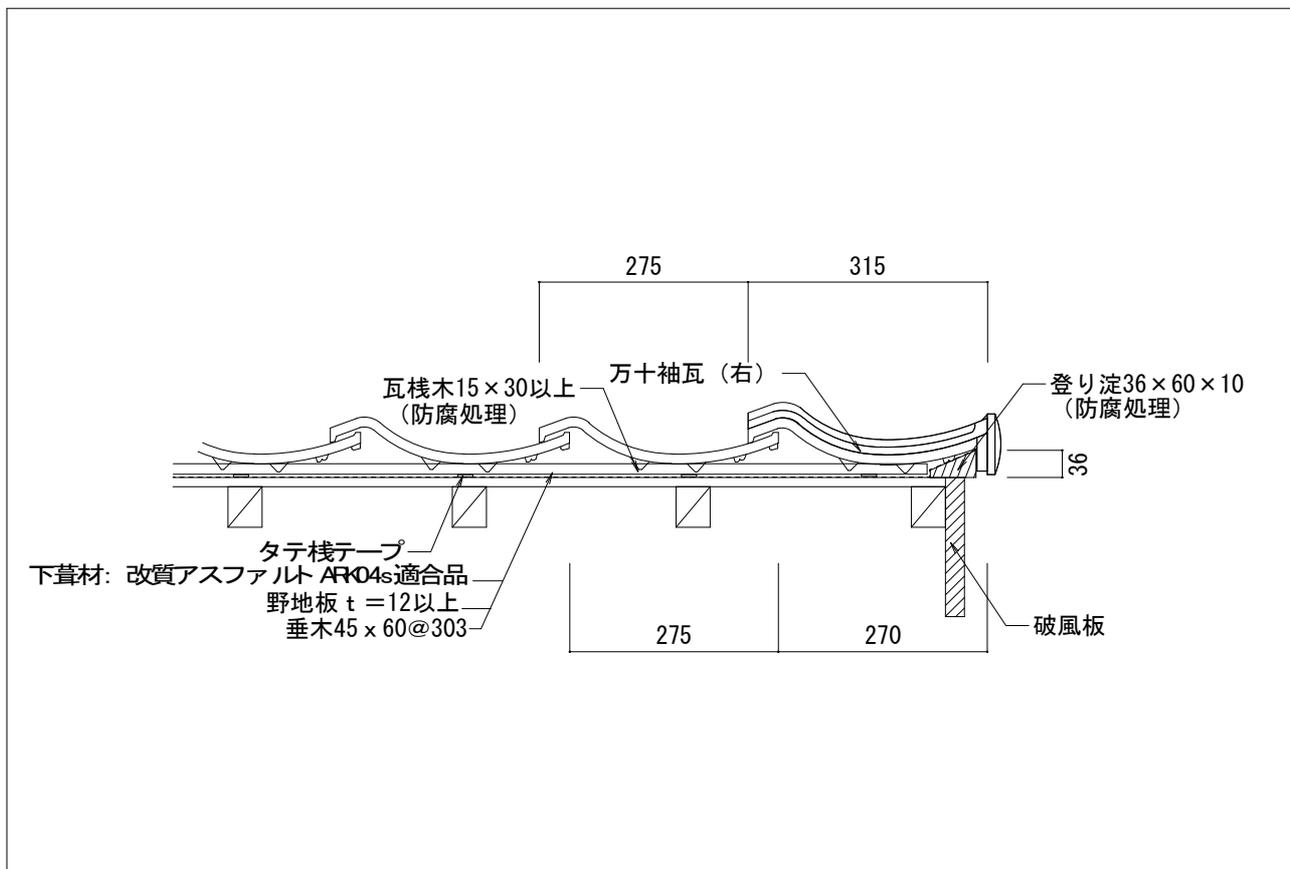


【ケラバ(左)の納まり】

S = 1/10



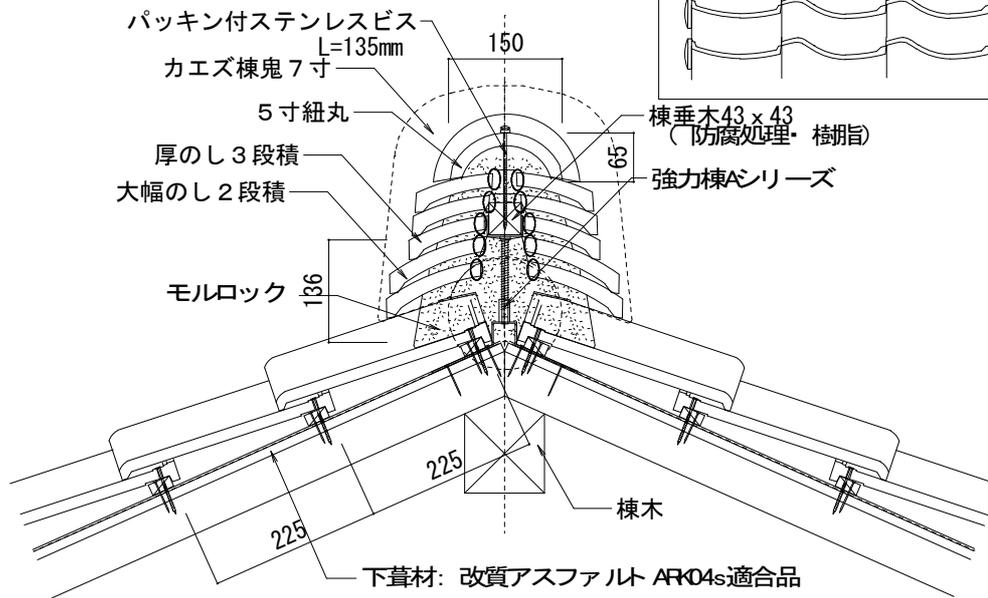
【ケラバ(右)の納まり】



【棟の納まり】

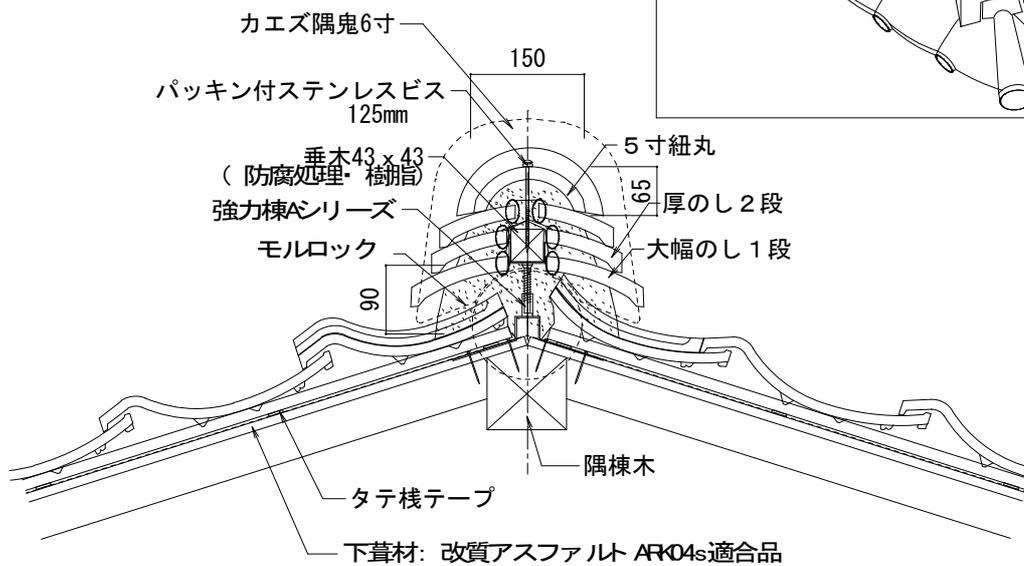
S=1/10

《カエズ・大幅のし2段厚のし3段の場合》



【隅棟の納まり】

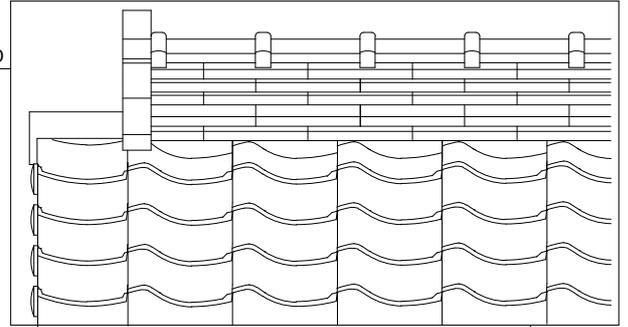
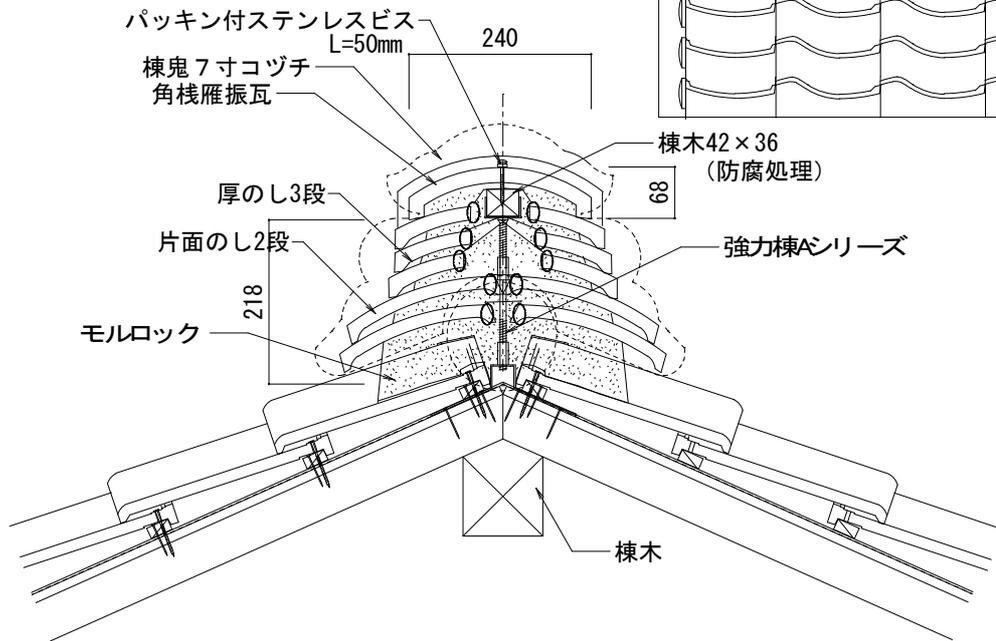
《カエズ・厚のし3段の場合》



【棟の納まり】

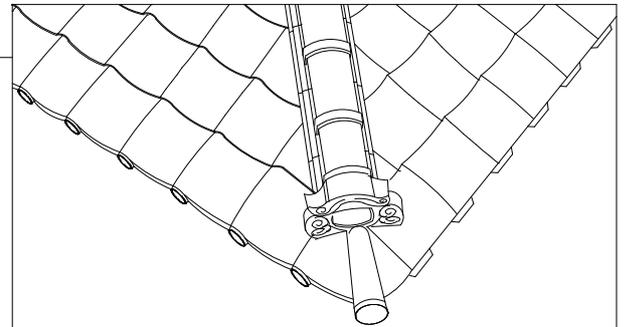
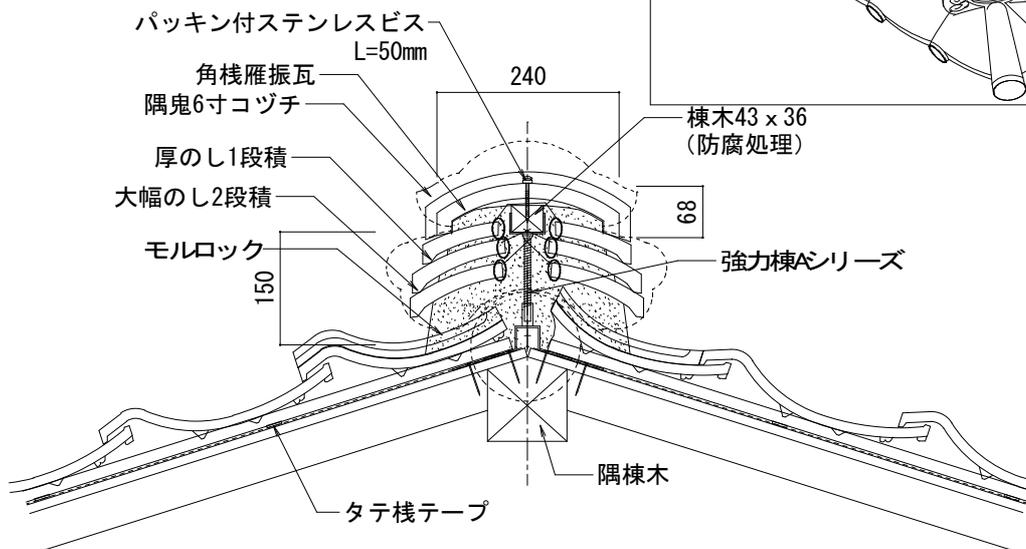
S = 1 / 10

《コツチ・厚のし3段片面のし2段の場合》



【隅棟の納まり】

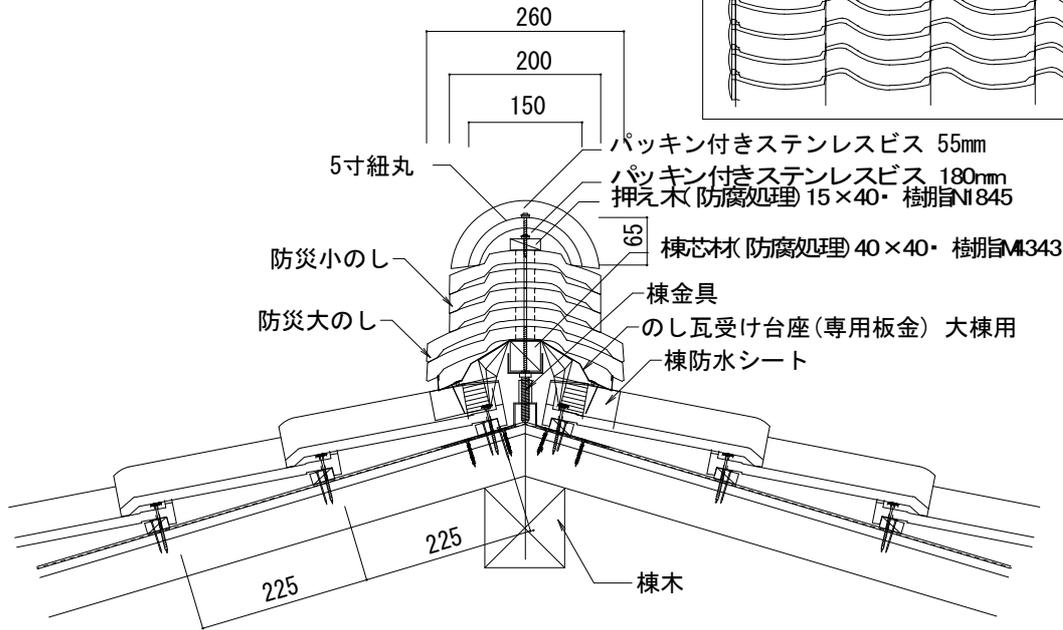
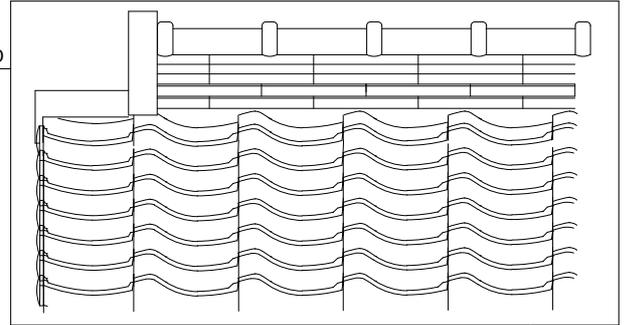
《コツチ・厚のし1段大幅のし2段の場合》



【棟の納まり】 乾式工法

S = 1 / 10

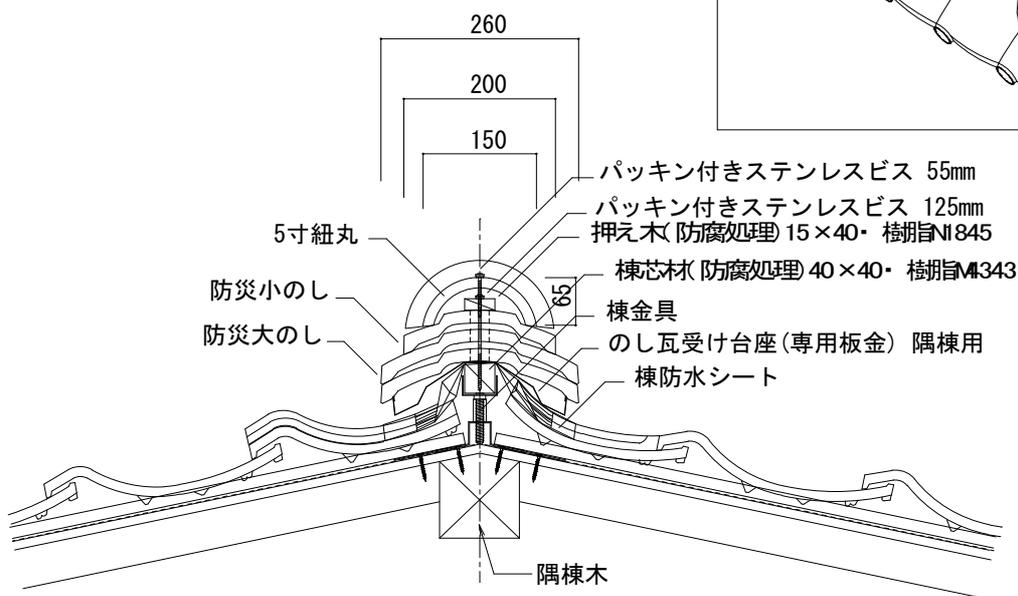
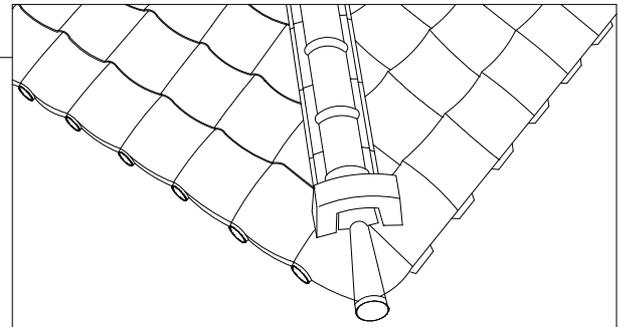
《MBK防災大のし2段防災小のし3段の場合》



※棟際で切断した棧瓦を用いる場合、緩勾配屋根では特に瓦勾配に注意して施工してください。

【隅棟の納まり】 乾式工法

《MBK防災大のし2段小のし1段の場合》

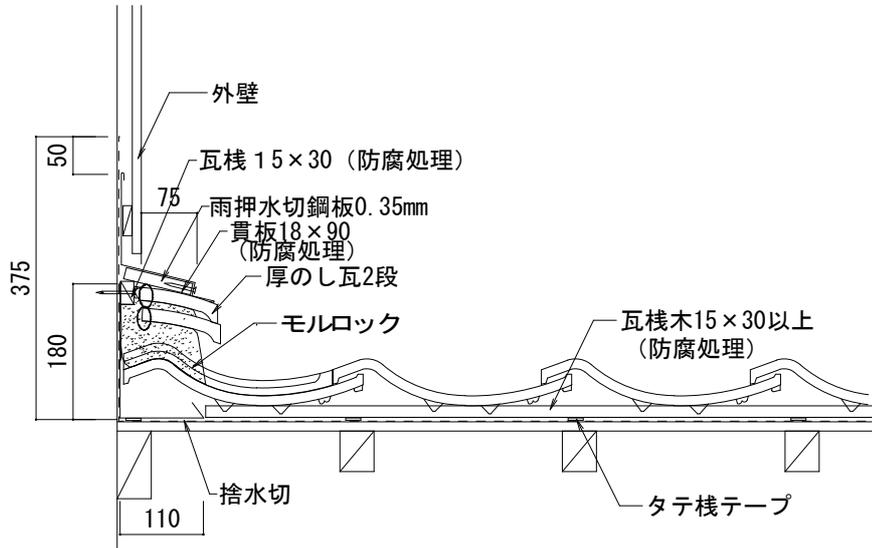


※防災のし 乾式施工の詳細については「丸惣防災乾式工法 MBK 施工マニュアル」をご参照ください。

【壁際(流れ方向)の納まり】

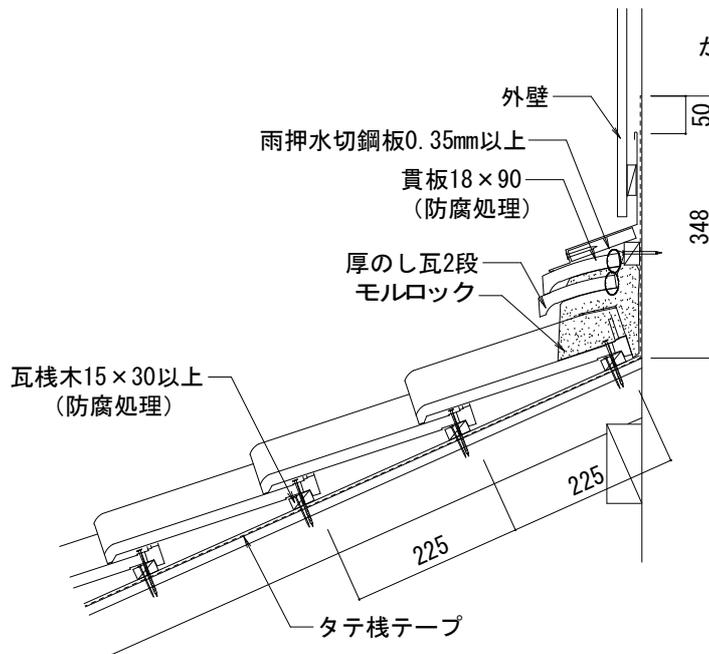
S = 1 / 1 0

ルーフィング増貼り250mm以上
かつ雨押え板金上端より50mm以上



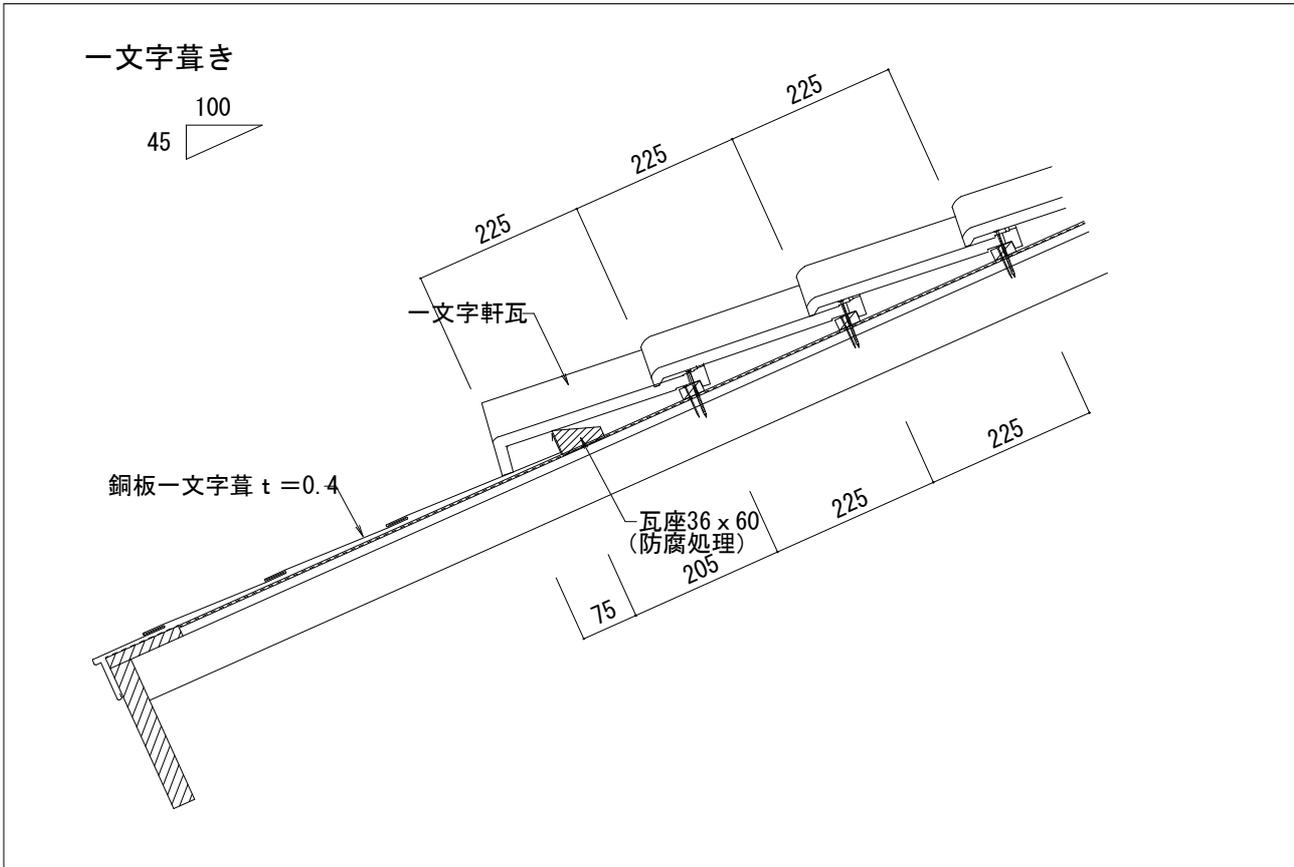
【壁際(水平方向)の納まり】

ルーフィング増貼り250mm以上
かつ雨押え板金上端より50mm以上



【軒先の納まり】

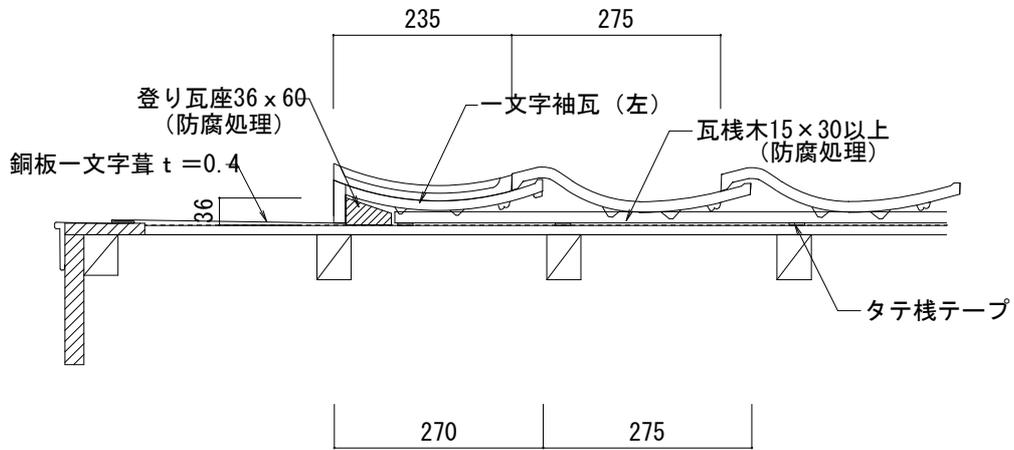
S = 1 / 10



【ケラバ(左)の納まり】

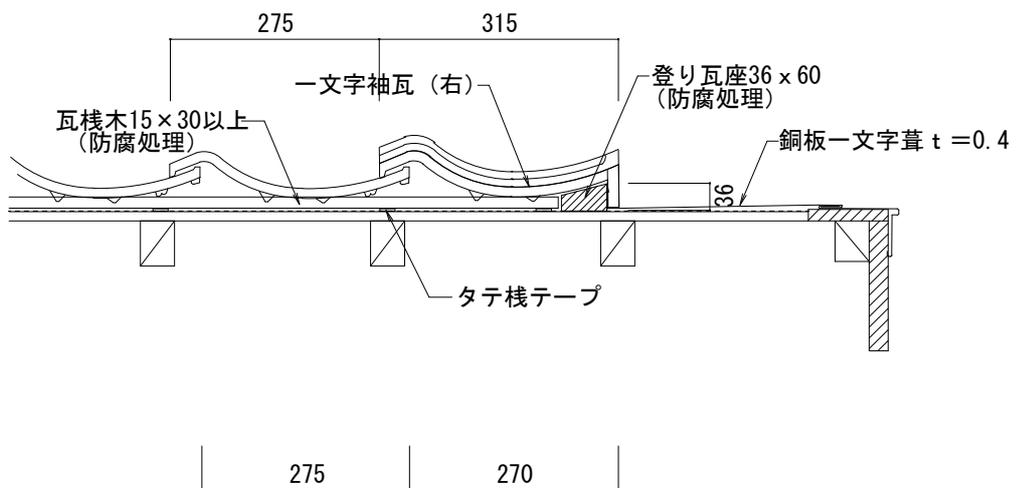
S = 1/10

一文字葺き



【ケラバ(右)の納まり】

一文字葺き





販売元



製造元

瓦百景株式会社

本社/〒694-0303 島根県大田市水上町白环658-1 TEL (0854) 89-0201 FAX (0854) 89-0276
温泉津工場/〒699-2507 島根県大田市温泉津町井田イ945-2 TEL (0855) 66-0111 FAX (0855) 66-0825

<http://kawara100.co.jp>